

# コーヒー摂取による大腸がん死亡率低下と大腸内視鏡検査

アメリカのHuらは、大腸内視鏡検査にて大腸がんの診断を受けた患者 (n=1,599) で、コーヒー摂取頻度と死亡率との関連を調査した結果を *Gastroenterology* 誌に報告しました。



中央値 7.8 年の追跡期間中、コーヒーを摂取しない患者と比較して、一日 4 杯以上のコーヒーを摂取した患者では大腸がん死亡が 52%減少、全死亡も 30%減少しました。



カフェイン入りのないシロデカフェコーヒーの高摂取（一日 2 杯以上）も大腸がん特異的・全原因死亡率の低下と関連しました。



大腸内視鏡検査にて大腸がん診断後の高摂取の継続も、大腸がん死亡率の低下（ハザード比0.63）、全死亡率の低下（0.71）と関連しました。

